

市町村名		今帰仁村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の 形成	
担当部課名	教育委員会	社会教育課	事業実施 年度	平成 24	平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	既存の施設を活用し、スポーツによる交流など今帰仁村を目的地とする合宿の誘致及び住民福祉の向上を図るため、総合運動公園の施設機能を強化する。 合宿の誘致に資する屋外照明、屋外テニスコート、温水プール及び外柵の施設改修と多目的ステージ及び広場施設に、住民の福祉に資するため遊具等を整備した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H24~26年度	H27年度	H28年度	H29年度	総事業費	
	A. 予算現額	185,056	136,028	62,791	62,791	446,666	
	B. 執行済額	185,056	136,028	62,791	62,791	446,666	
	うち 交付金充当額	148,044	108,800	55,896	50,232	362,972	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度及びH27年度については、関係者との調整及び工事資材の調達に不測の日数を要したことから、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は100%となり、計画的に執行できた。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	今帰仁村総合運動公園照明設備改修工事 ・サブグラウンド及びホッケー場	目標	実施	-	-	-	-
		実績	実施	-	-	-	-
	・多目的広場設計委託 ・テニスコート改築工事(4コート) ・テニスコート照明電気設備工事	目標	-	実施	-	-	-
		実績	-	実施	-	-	-
	・村営プール改修調査設計委託 ・村営プール改修工事	目標	-	-	実施	-	-
		実績	-	-	実施	-	-
・園内動線、外柵、遊具等測量設計委託 ・イベント広場建設工事	目標	-	-	-	実施	-	
	実績	-	-	-	実施	-	
・園内動線外柵等改修工事及び遊具整備工事の実施	目標	-	-	-	-	実施	
	実績	-	-	-	-	実施	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	今帰仁村総合運動公園照明設備改修工事 ・サブグラウンド及びホッケー場	目標	完了	-	-	-	-
		実績	完了	-	-	-	-
	・多目的広場設計委託の完了 ・テニスコート(4面)の改築工事の完成 ・テニスコート照明電気設備工事の完成	目標	-	完了	-	-	-
		実績	-	完了	-	-	-
	・村営プール改修調査設計委託の完成 ・村営プール改修工事の完了	目標	-	-	完了	-	-
		実績	-	-	完了	-	-
・園内動線、外柵、遊具等測量設計委託の完了 ・イベント広場建設工事の完了	目標	-	-	-	完了	-	
	実績	-	-	-	完了	-	
・園内動線外柵等改修工事及び遊具整備工事の完了	目標	-	-	-	-	完了	
	実績	-	-	-	-	完了	

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					
						H30年度 目標/発現年度
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
合宿団体数(本施設内クラブハウス)	目標	-	-	-	-	23団体
	実績	-	-	-	-	20団体
施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	目標	-	-	-	-	80%
	実績	-	-	-	-	99%
事業完了後の成果目標 状況説明	【H30年度】 ・合宿団体数(本施設内クラブハウス)は、20団体となり、目標を達成できなかった。 ・施設利用者満足度に関するアンケート結果は、99%となり、目標を達成した。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【H30年度】 ・合宿団体数(本施設内クラブハウス)については、目標に対して約87%の実績があり、施設利用者の満足度についても高い評価を得ていることから、一定の効果発現が確認されており、引き続き施設の利用促進を図ることが求められる。			【H30年度】 ・合宿団体数(本施設内クラブハウス)の増加に向けて、合宿地としての認知度を高めることによって新たな誘致を図るとともに、過去に実績がある団体(水泳、バスケット)へ再誘致活動を展開する等の取り組みを進める必要がある。			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
【H30年度】 ・機能強化された施設のPRを積極的に行い、これまでに実施されていない合宿の新規誘致及び過去に実績のある合宿の再誘致に取り組む。						

市町村名	今帰仁村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	村営闘牛場機能強化整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部署名	村長部局	経済課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	沖縄の伝統興行である「闘牛」を後世へ継承していくために、闘牛大会を定期開催し、地元の闘牛ファンのみならず県外観光客を呼び込む観光資源として有効活用し伝統興行の活性化を図るため、村営闘牛場の機能強化を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費		
	A. 予算現額	10,800	55,375			66,175		
	B. 執行済額	10,800	53,938			64,738		
	うち 交付金充当額	8,640	43,150			51,790		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.4%			97.8%		
	執行状況の説明	最終的な執行率は97.8%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	村営闘牛場機能強化整備事業における、測量業務、調査設計委託業務の実施	目標	実施	-	-	-	-	
		実績	実施	-	-	-	-	
	村営闘牛場機能強化整備事業における、設備工事、工事施工監理委託業務の実施	目標	-	実施	-	-	-	
		実績	-	実施	-	-	-	
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	村営闘牛場機能強化整備事業における、測量業務、調査設計の完了	目標	完了	-	-	-	-	
		実績	完了	-	-	-	-	
	村営闘牛場機能強化整備事業における、設備工事、工事施工監理委託業務の完了	目標	-	完了	-	-	-	
		実績	-	完了	-	-	-	
	目標							
	実績							

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						H30年度 目標/発現年度
	年間来場者数	目標	-	-	-	-	1,500人
		実績	-	-	-	-	1,568人
		目標					
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】 ・年間来場者数は1,568人となり、目標を達成した。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・沖縄の伝統興行である「闘牛」は地元の闘牛ファンのみならず県外観光客を呼び込む観光資源となっていることから、当該施設の来場者の増加が見込まれる。</p>			<p>【H30年度】 ・観光客を呼び込む観光資源として「闘牛」を有効活用していく必要がある。</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】 ・地元闘牛ファン及び県外観光客を呼び込むため、闘牛大会等を定期開催する必要がある。</p>							